



松本市図書館だより

平成31年1月1日発行 第67号

編集・発行 松本市
中央図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099

謹賀新年

本年も皆さまに親しまれ、
皆さまの暮らしに役立つ図書館を目指し、
職員一同より良いサービスを提供できるように努めてまいります。
どうぞよろしくお願いたします。

今年の干支は亥（イノシシ）！ライブラリスもイノシシの背に乗せてもらいました！
ライブラリスと一緒にイノシシに関する資料をご紹介します。

『猟師が教えるシカ・イノシシ利用大全』 田中 康弘／著

農山漁村文化協会

【659タ 所蔵館：中央・南部・島内】

この本では、シカやイノシシは自然の恵み
ととらえ、シカやイノシシの食べ方や、皮
・角・牙の利用法、獲り方、売り方を紹介
しています。



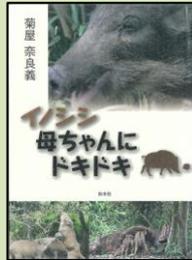
ここでイノシシに
ちなんだ耳より情報！
どうやらお隣の安曇野市
では毎年10月頃に
「いのしし祭り」という
イノシシの肉を食べる
イベントがあるみたいです。



『イノシシ母ちゃんにドキドキ』 菊屋 奈良義／著 白水社

【489キ 所蔵館：中央】

野生のイノシシー家を1年半にわたって
観察し、ユーモアたっぷりにまとめてい
ます。危ない印象が強いイノシシですが、
そんなイノシシ観を一変させる一冊です。



『イノシシから田畑を守る』 江口 祐輔／著 農山漁村文化
協会 【615エ 所蔵館：中央・梓川】

イノシシによる農作物の被害。イノシシの
素顔を暴きながらその行動パターンから
得られるヒントをたよりに、防除の極意を
紹介しています。



図書館イベント・おしらせ

ハーバリウム講座

日時 1月19日(土) 13時～15時頃

場所 なんなんひろば2階 第四会議室

講師 酒井 紀子先生

定員 12名 **要申し込み**

(親子参加の場合は親子1組で1名とします。)

材料費 200ml瓶：2500円

150ml瓶：2000円

100ml瓶：1500円

南部図書館 ☎26-1083(代)



当日お好きなサイズと
形をお選びください。

クラフトバンド講座

日時 1月26日(土) 13時～15時

場所 空港図書館 会議室

講師 丸山 富子先生

対象 小学生(高学年以上)～大人

定員 10名 **要申し込み**

持ち物 はさみ・ボンド・えんぴつ・
洗濯ばさみ(5～6個)

受講料 無料

空港図書館 ☎86-8460



新刊のご案内



『みずとはなんじゃ?』 かこ さとし/作 鈴木まもる/絵 小峰書店

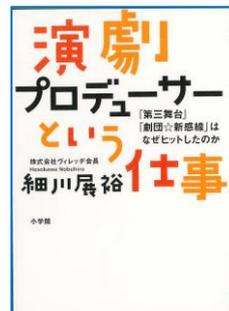
【 E1 所蔵館：全11館 】

今年惜しまれつつ逝去されたかこさとしさんの最後の作品で、かこさんの原稿を元に鈴木まもるさんが絵を描いた科学絵本です。水とはどんなものでどういう役割なのか工学博士でもあったかこさとしさんが楽しく分かりやすく詳しく教えてくれて、子どもはもちろん大人にもぜひ読んでいただきたい絵本です。絵本の中にはかこさんのあの有名キャラクターも登場しています。

『演劇プロデューサーという仕事』 細川 展裕/著 小学館

【 770ホ 所蔵館：中央、波田 】

「第三舞台」で小劇場ブームを牽引し、「髑髏城の七人」や「メタルマクベス」などの人気公演を行い、今年の4月にまつもと市民芸術館にもやってくる「劇団☆新感線」のプロデューサーの細川展裕さんの自伝です。いかにして集客力が高く、お金を集めることができる商業演劇の興行をプロデュースし、成功させているのか。また、第三舞台や新感線を通して関係の深い3人との対談や鼎談も収録されています。



予約本ベスト5

平成30年11月15日～

一般書

平成30年12月15日受付

- 1位 『沈黙のパレード』 東野 圭吾/著、文藝春秋
- 2位 『昨日がなければ明日もない』 宮部 みゆき/著、文藝春秋
- 3位 『フーガはユーガ』 伊坂 幸太郎/著、実業之日本社
- 4位 『はつ恋』 村山 由佳/著、ポプラ社
- 5位 『すぐ死ぬんだから』 内館 牧子/著、講談社

児童書

- 1位 『それしかないわけないでしょう』 ヨシタケ シンスケ/著、白泉社
- 2位 『ふしぎ駄菓子屋銭天堂 10』 廣嶋 玲子/作、偕成社
- 3位 『風と行く者』 上橋 菜穂子/作、偕成社
- 4位 『おしっこちょっぴりもれたろう』 ヨシタケ シンスケ/作・絵、PHP 研究所
- 5位 『みずとはなんじゃ?』 かこ さとし/作、鈴木 まもる/絵、小峰書店



図書館に聞いてみよう!??

【今月の事例】 Q寒中見舞いとは?

A

『冠婚葬祭しきたりとマナーの事典』

(岩下 宣子/監修、2013、日本文芸社)

1年で最も寒さの厳しい季節にお世話になっている相手の体調を気遣うとともに、自分の近況報告をする挨拶状。寒の入りから立春ころまでに出す。

『年中行事のコツのコツ1 新年のしきたり』

(味元 敬子/文、2007、リブリオ出版)

喪中で年賀欠礼をいただいていた人や年賀状を出しそびれてしまった人、また喪中で年賀状を出せなかった場合などに使う。

その他資料

『礼儀正しい手紙・はがきの書き方とマナー』

(岩下 宣子/監修、2014、学研パブリッシング)

『好感を持たれる手紙の書き方とマナー』

(日本文芸社/編、2013、日本文芸社)

上記2つの資料にも寒中見舞いの定義や書き方の例文などの掲載があります。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についても調べられていますので、お気軽にご利用ください。

f フェイスブックやっています

松本市図書館 アルプスの山々



フェイスブック QRコード

FMまつもと 今月の出演

1月17日(木) 12:30~

チャンネル: 79.1MHz

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください。

